



原動機において、サプライポンプとコモンレール間の燃料パイプを固定するクランプを付け忘れたものがある。そのため、エンジンの振動によりパイプに亀裂が発生し、燃料が漏れるおそれがある。

改善措置の内容
 全車両、サプライポンプとコモンレール間のパイプクランプの有無を確認し、クランプが取り付けられていない場合は、燃料パイプを交換し、クランプで固定する。

注：□は、交換または追加部品を示す。
 識別：作業完了車には、ラジエータ シュラウド上部に「LT111」の文字が記載された白黄色のシールを貼付ける。